

中谷防衛大臣訪沖



玉城沖縄県知事との面談



渡具知名護市長との面談



当山嘉手納町長、渡久地北谷町長、中村うるま市長、佐喜眞宜野湾市長、松本浦添市長、知念那覇市長との面談



仲間金武町長、當眞宜野座村長、山城恩納副村長との面談

中谷防衛大臣が就任後初めて令和6(2024)年12月14日から15日までの日程で沖縄を訪れました。

12月14日、平和祈念公園において国立沖縄戦没者墓苑及び土佐之塔に献花を行った後、那覇港湾施設、那覇港湾施設移設先及びキャンプ・シュワブを視察し、名護市長、金武町長、宜野座村長、恩納副村長との面談等を行いました。

翌15日には、沖縄県知事、嘉手納町長、北谷町長、うるま市長、宜野湾市長、浦添市長、那覇市長及び在日米軍沖縄地域調整官との面談を行いました。

目次

CONTENTS

◆ 中谷防衛大臣訪沖	2	◆ 牧港漁港製氷冷蔵荷捌き施設落成式典	6
◆ 幹部職員紹介	2	◆ 嘉手納飛行場第18航空団司令官による 三連協への説明	7
◆ 普天間飛行場代替施設建設事業について	3	◆ 「ロウワー・プラザ緑地ひろば」が オープン1周年を迎えます	8
◆ 令和7(2025)年度沖縄関係予算政府案について	4		
◆ 県道104号線越え実弾射撃訓練の分散・ 実施について	5		

中谷防衛大臣訪沖



山城竹富副町長との面談



石垣駐屯地での訓示



竹富東港の視察



波照間漁港の視察



糸数与那国町長との面談



与那国駐屯地での訓示

中谷防衛大臣が令和7(2025)年1月21日から22日までの日程で就任後2回目の沖縄訪問がなされました。1月21日、竹富副町長との面談を行った後、石垣駐屯地にて部隊視察及び訓示等を行いました。翌22日には、竹富島及び波照間島を視察後、与那国駐屯地にて部隊視察及び訓示等を行い、与那国町長との面談を行いました。

幹部職員紹介



ふくた こうじ
調達部次長 **福田浩司**

1月15日付けで調達部次長を拝命しました福田です。私は国土交通省の出身ですが、沖縄防衛局での勤務は2回目、防衛省として3回目の辞命をいただくこととなりました。再び、沖縄の豊かな自然や歴史・文化に触れながら業務ができることを楽しみにしています。重要な事業に携われることを誇りに、皆様のお役に立てるよう取り組んでまいりますので、どうぞよろしくお願いたします。

普天間飛行場代替施設建設事業について

キャンプ・シュワブにおける普天間飛行場代替施設建設事業につきましては、平成29(2017)年11月に辺野古側の護岸工事に、平成30(2018)年12月に埋立工事にそれぞれ着手し、辺野古側については埋立工事がおおむね完了しています。

また、令和5(2023)年12月に変更承認申請の承認を得たことから、令和6(2024)年1月には大浦湾側の工事に着手しており、そして、同年12月28日からは新たに大浦湾側の地盤改良工事に着手しました。今回は、この地盤改良工事について、紹介します。

地盤改良等の設計について

羽田空港等多くの海上埋立空港で使用されている、国土交通省が監修した基準に基づいて行われており、海面下最大70mまで砂杭を打設して地盤改良を行うことにより、構造物等の安定性を十分に確保できるとの結論が得られています。

地盤改良等の規模について

羽田空港の再拡張事業や関西国際空港の建設事業よりも少ない砂杭等で施工可能なものであり、また、日本企業が、韓国で海面下70mまで、横浜で海面下65mの深さまで施工した実績もあります。

地盤改良等の工法について


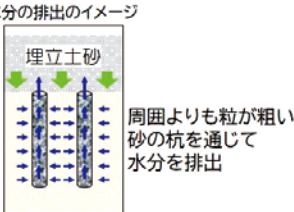
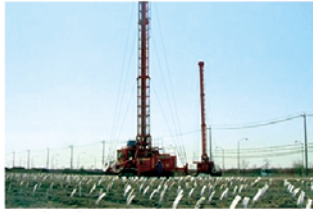
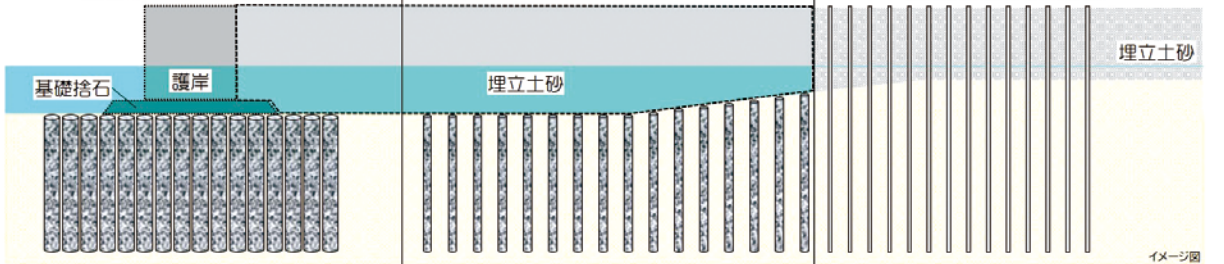
羽田空港や関西国際空港、那覇空港でも用いられている、長年にわたり多数の施工実績があるものが採用されています。

本事業における地盤改良等の設計、工法については、当局が設置した有識者で構成される技術検討会において確認いただいています。

このように、大浦湾側の地盤において確認されている粘性土は、一般的で施工実績が豊富な地盤改良工法により、護岸の安定性を十分に確保することができる強度の地盤になり、問題なく埋立地を完成させ、飛行場を建設することができます。

当局としては、普天間飛行場の一日も早い全面返還を実現し、そして、基地負担の軽減を図るため、引き続き、作業の安全に十分留意した上で、自然環境や周辺住民の方々の生活環境にも十分配慮しながら、移設に向けた工事を着実に進めてまいります。

○本事業における地盤改良工法について

サンド・コンパクション・パイル(SCP)工法	サンド・ドレーン(SD)工法	ペーパー・ドレーン(PD)工法
護岸の支持力の確保と水分の排出の促進のため、埋立て前に、締め固めた砂杭を地中に造成する工法	水分の排出の促進のため、埋立て前に、砂杭を地中に造成する工法	水分の排出の促進のため、埋立て後に、生分解性プラスチック製の排水材を地中に設置する工法
	<p>水分の排出のイメージ</p>  <p>埋立土砂 周囲よりも粒が粗い砂の杭を通じて水分を排出</p>	
 <p>基礎塔石 護岸 埋立土砂</p> <p>埋立土砂</p> <p>イメージ図</p>		

○本事業と他事業の地盤改良工法の規模について

事業名	SCP	SD	PD	合計	事業者名
普天間飛行場代替施設建設事業	約1.6万本	約3.1万本	約2.4万本	約7.1万本	国(沖縄防衛局)
羽田空港(沖合展開事業)	-	約26万本	約232万本	約258万本	国(関東地方整備局)
羽田空港(再拡張事業(D滑走路))	約7万本	約18万本	-	約25万本	国(関東地方整備局)
関西国際空港第I期事業	約3万本	約96万本	約4万本	約102万本	関西国際空港株式会社(当時)
関西国際空港第II期事業	約0.2万本	約118万本	約8万本	約126万本	関西国際空港用地造成株式会社(当時)

四捨五入のため合計値は符合しない場合あり

令和7(2025)年度沖縄関係予算政府案について

沖縄防衛局に係る令和7(2025)年度の沖縄関係予算政府案は、次のとおりとなりました。

(単位：億円、%)

事 項	令和6年度 予 算 額	令和7年度 予 算 額	対前年度 増△減額	対前年度 伸 率
1. 基地周辺対策経費	< 379 > 370	< 432 > 379	< 53 > 9	< 13.9 > 2.4
住宅防音	< 131 > 131	< 132 > 133	< 1 > 2	< 0.9 > 1.8
周辺環境整備	< 248 > 239	< 300 > 246	< 51 > 7	< 20.7 > 2.8
2. 補償経費等	< 1,110 > 1,110	< 1,127 > 1,111	< 18 > 1	< 1.6 > 0.1
(1) 施設の借料	1,084	1,085	1	0.1
土地等の借料	1,062	1,073	12	1.1
その他(道路使用等)	22	11	△ 11	△ 48.5
(2) 漁業補償	12	12	0	△ 0.8
(3) その他の補償等	< 14 > 15	< 31 > 15	< 17 > 0	< 2.2倍 > 0.9
3. 基地従業員関係	477	539	63	13.1
4. 提供施設の整備	< 105 > 125	< 51 > 105	< △ 55 > △ 20	< △ 52.0 > △ 16.1
合 計	< 2,070 > 2,082	< 2,148 > 2,134	< 78 > 52	< 3.8 > 2.5

注：1 上段<>内は、契約ベースである。

2 計数は、四捨五入によっているので符合しないことがある。また、表中における符号「0」は単位未満である。

3 基地周辺対策経費には、米軍再編関係経費（地元負担軽減分）等に計上した経費を含む。

令和7(2025)年度特別行動委員会(SACO) 関係経費【沖縄関係】

(単位：億円、%)

事項	令和6年度 予算額	令和7年度 予算額	対前年度 増△減額	対前年度 伸率
1 土地返還のための事業	3	4	1	31.2
2 訓練改善のための事業	0	0	0	16.0
3 SACO事業の円滑化を図るための事業	< 3 > 1	< 4 > 4	< 0 > 3	< 9.6 > 4.8倍
合計	< 7 > 4	< 8 > 8	< 1 > 4	< 20.3 > 2倍

令和7(2025)年度米軍再編関係経費 (地元負担軽減に資する措置)【沖縄関係】

(単位：億円、%)

事項	令和6年度 予算額	令和7年度 予算額	対前年度 増△減額	対前年度 伸率
1 沖縄における再編のための事業	< 2,165 > 1,049	< 2,320 > 1,008	< 156 > △ 41	< 7.2 > △ 3.9
(1) 普天間飛行場の移設	< 1,614 > 726	< 2,006 > 725	< 392 > △ 1	< 24.3 > △ 0.1
(2) 嘉手納以南の土地の返還	< 551 > 323	< 315 > 282	< △237 > △ 40	< △ 42.9 > △ 12.5
2 再編関連措置の円滑化を図るための事業	< 95 > 83	< 121 > 98	< 26 > 15	< 27.1 > 18.2
合計	< 2,260 > 1,132	< 2,441 > 1,105	< 182 > △ 26	< 8.0 > △ 2.3

注：1 上段<>内は、契約ベースである。

2 計数は、四捨五入によっているので符合しないことがある。また、表中における符号「0」は単位未満である。

県道104号線越え実弾射撃訓練の分散・実施について

キャンプ・ハンセンにおいて実施されていた、県道104号線越え実弾射撃訓練については、平成8(1996)年12月の日米特別行動委員会(SACO)の最終報告に基づき、沖縄県民の負担軽減のため、これらの訓練を平成9(1997)年7月から本土5ヶ所の陸上自衛隊演習場で分散・実施しており、これまでに98回実施されています。

沖縄防衛局では、在沖米海兵隊がこの訓練を実施するにあたって必要な物資等の円滑な輸送のため、米軍や輸送業者と打合せを重ね、輸送状況を確認するなどの業務を行っています。

令和7(2025)年度の訓練計画については、以下のとおり予定しており、各演習場における訓練の具体的な日程等については、今後、日米間において調整を行い決定します。

今後とも、本土5ヶ所の演習場への訓練の分散・実施を行い、沖縄県民の負担軽減に取り組んでまいりたいと思います。

【令和7(2025)年度訓練計画】

令和7(2025)年1月14日公表

第1回矢白別演習場

令和7(2025)年4月～6月

第2回東富士演習場

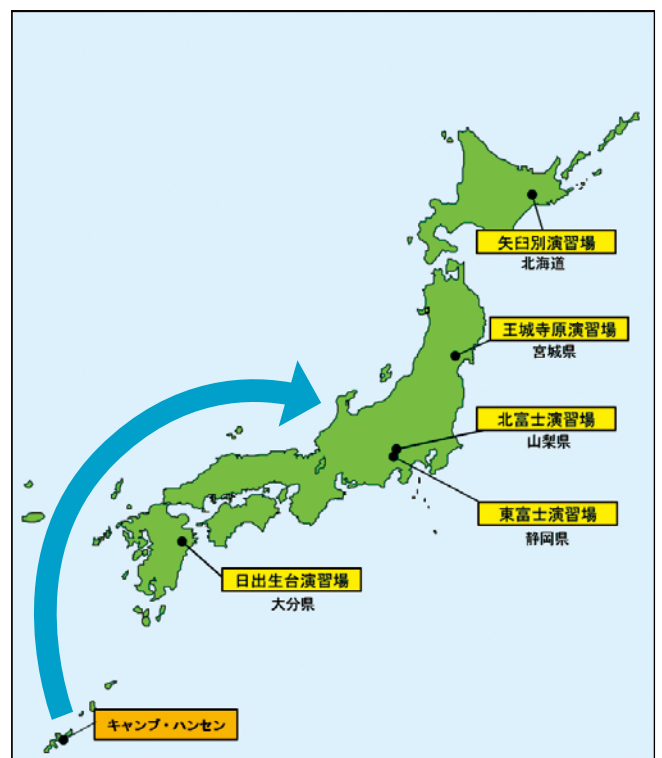
令和7(2025)年7月～9月

第3回北富士演習場

令和7(2025)年10月～12月

第4回王城寺原演習場

令和8(2026)年1月～3月



牧港漁港製氷冷蔵荷捌き施設落成式典

令和6(2024)年12月14日、牧港漁港製氷冷蔵荷捌き施設の落成式が行われ、関係者の方々が出席し、施設の完成を祝いました。

本施設は、老朽化した施設の更新・拡充を行うことにより、安定した氷等の供給の確保や、安全な漁業活動及び漁業経営の安定化を目的とし、浦添市及び宜野湾市が当省の防衛施設周辺整備助成事業を活用して整備したものです。

当局といたしましては、地域住民の皆様方の生活と防衛施設との調和を図ることが何よりも重要であると認識しており、今後とも防衛施設周辺の皆様方の生活の安定及び福祉の向上に寄与するための各種施策の実施に取り組んでまいります。



記念撮影（左から）(株)翁長設計 吉田社長、佐喜眞宜野湾市長、櫻井沖繩防衛局長、中西浦添宜野湾漁協組合長、松本浦添市長、上原沖繩県漁連会長、(株)明成建設 知念代表取締役



施設外観



浦添宜野湾漁業協同組合
組合代表理事組合長
中西 聡明

「牧港漁港製氷冷蔵荷捌き施設」が、令和6(2024)年12月19日より供用開始する運びとなりました。

当該施設は、コンピュータ制御による5トン（一日あたり）の製氷機2基、貯氷庫30トンを備え、漁船への氷積込の大幅な時間短縮と氷供給不足の解消を実現しております。また、鮮度保持対策として、漁業者用冷蔵庫・冷凍庫及び組合用冷蔵庫・冷凍庫を完備し、出航準備から水揚げ、そして鮮度保持まで無駄なく対応することができ、また、荷捌き施設を閉鎖型にすることにより、高度な衛生管理の対応を可能とする施設となっております。

さらに、水揚げした水産物を一次的に処理できるような設備を備え、衛生的にも万全を期しております。

この「牧港漁港製氷冷蔵荷捌き施設」は、地域社会にとって不可欠な施設のひとつであり、都市地区にありながら、中部地区にも近く水産流通の拠点ともなる位置にあり、今後も安定した水産物の水揚げと流通が期待されます。これもひとえに沖繩防衛局をはじめ、浦添市、宜野湾市、その他多くの関係者の皆様のご支援とご理解、ご協力の賜物と深く感謝を申し上げます。



浦添市長 松本 哲治

牧港漁港製氷冷蔵荷捌き施設の完成にあたり防衛施設周辺整備助成事業として採択され、沖繩防衛局の格別なご尽力いただき深く感謝申し上げます。

新荷捌き施設においてはベルトコンベアーや電動のフォークリフトが稼働しており、これまでの課題解決のみならず、作業の効率アップや高度な衛生管理が可能になった事により、新鮮な魚介類が安心、安全な状態で市場に送り出せることも頼もしく感じております。

新荷捌き施設が浦添宜野湾漁業協同組合の皆様の一層の発展の一助となることを心より願っております。



宜野湾市長 佐喜眞 淳

牧港漁港製氷冷蔵荷捌き施設の落成、誠にありがとうございます。

この度、施設完成にご尽力いただきました沖繩防衛局の皆様、工事関係者の皆様に心より感謝申し上げます。

本施設は、宜野湾市と浦添市の漁業活動を支える重要な施設であり、衛生機能や製氷冷蔵機能の強化により漁業活動の安定化などが期待されております。本施設が十分に活用され、ソデイカ漁など多くの水揚げがあることを心より願っております。

結びに、浦添宜野湾漁業協同組合のますますのご発展と、漁業者の安全操業と大漁を祈念し、お祝いの言葉といたします。

嘉手納飛行場第18航空団司令官による 三連協への説明

令和6(2024)年11月1日、沖縄市役所において、嘉手納飛行場に関する三市町連絡協議会(三連協)を構成する平田嗣巳沖縄市長職務代理者・副市長、當山宏嘉手納町長、渡久地政志北谷町長に対し、ニコラス・エバンス第18航空団司令官から、令和6(2024)年4月以来新たに導入された嘉手納飛行場における航空機の騒音軽減対策について、説明会が開かれました。

同説明会では、伊藤晋哉沖縄防衛局長が司会進行を務め、宮川学外務省沖縄担当大使の他、沖縄防衛局及び外務省沖縄事務所の職員も同席しました。

司令官の説明後は、参加した首長との率直な意見交換が行われ、各首長からは、三連協の申し入れ等を踏まえ、飛行経路の改善を含む騒音軽減のための取組を行っていること、このような対話の場が設けられたことについて評価が示されました。

また、各首長から、令和6(2024)年4月以来の各市町の地区毎の騒音データの前年比について紹介があり、騒音や苦情件数が減少傾向にあることから、第18航空団による取組は、一定程度の効果が出ているとした上で、今後も対話を継続していきたい旨、表明がなされました。

当局としても、今回説明された航空機の飛行運用を見守るとともに、地元自治体と米軍が対話を通じて引き続き良好な関係を築いていけるよう今後も努めて参ります。



説明会の様子

1-1. 戦闘機の旋回地点

周辺住宅地の騒音を軽減するために、ローパス・タッチアンドゴー訓練において、旋回地点を可能な限り舞臺車地区及び洋上とすることにより、旋回時の騒音を抑制しています。



1-2. 戦闘機の旋回地点(反時計回り)

周辺住宅地の騒音を軽減するために、ローパス・タッチアンドゴー訓練において、旋回地点を可能な限り基地上空とすることにより、旋回時の騒音を抑制しています。



嘉手納基地における騒音軽減のための取組み

沖縄を含む日本の周辺地域では、各国が軍事力の強化を図り、軍事活動が活発化してきています。周辺国の航空戦力については、新型の戦闘機や爆撃機、無人航空機の強化が図られています。

このため、嘉手納基地は、日本と周辺地域における空の安全を確保し、住民の方々の平和な暮らしを守るため、任務遂行能力を維持するとともに、日々様々な訓練を行っています。

このような訓練では、騒音を生じるなど、地域住民の方々の生活へ少なからぬ影響が生じるため、嘉手納基地では、これを抑制するための取組みを行っています。

本資料では、嘉手納基地における騒音軽減のための取組みについて、特に飛行ルート工夫を中心に説明をしています。



2. 離陸時の飛行ルート

東側への離陸に際し、金武湾に直進し洋上に最短距離で出ることを徹底することにより、居住地域での旋回を抑制しています。



※以上の飛行ルートに係る取組みについては、基本的な努力を示すものであり、飛行安全等の必要から異なるルートを飛行する場合がありますことをご理解願います。

説明会資料

「ロウワー・プラザ緑地ひろば」がオープン1周年を迎えます

キャンプ瑞慶覧内の「ロウワー・プラザ緑地ひろば」は、令和7(2025)年3月31日にオープン1周年を迎えます。

当ひろばは、平成25(2013)年に公表された「沖縄統合計画」で返還予定地となっているロウワー・プラザ住宅地区を、返還までの間も日米の共同使用という形で、多くの人にご利用いただける緑地ひろばとして一般開放しています。

23haの広大な芝地、丘陵地の自然や景観を活かした施設となっており、昨年のオープン以降、愛犬との散歩やジョギング、ピクニックとしてのご利用や、ソフトボール場を活用したソフトボール練習など、レクリエーション・リフレッシュの場としてご活用いただいています。

また、当局の許可が必要ではありますが、沖縄県立沖縄ろう学校の100周年記念行事(令和6(2024)年11月)の駐車場としてイベントパーク(ひろば北側)の活用や、飲食物を販売するキッチンカーの出店場所としてもご利用いただいています。

このように、日常的な利用のみならず、物品等の販売や地域の行事など、可能な限り様々な用途でご利用いただけますので、その際は当局にご相談下さい。

今後、同地区の早期返還に向けて、返還条件達成に引き続き取り組んでいくとともに、地元の皆さんをはじめ、多くの方々の日常を彩り、喜んでいただける場となるように努めて参ります。



愛犬の散歩



ソフトボールのバッティング練習



沖縄県立沖縄ろう学校100周年記念行事での駐車場利用
(令和6年11月)



キッチンカー出店利用

【ソフトボール場の利用に関するお問い合わせ先】

ロウワー・プラザ緑地ひろば管理事務所 電話番号：090-6859-7896

【許可が必要な利用に関するお問い合わせ先(物品等販売・イベント利用等)】

沖縄防衛局 電話番号：098-921-8131 (内217・233)



沖縄防衛局HP

【当局担当者の声】

企画部移設整備課の本間です。ロウワー・プラザ緑地ひろばの管理・運営を担当しております。

イオンモール沖縄ライカムの隣という立地もあり、憩いの場として当ひろばをご利用いただいております。大変嬉しく思います。

返還までの期間限定ではございますが、地域の方の思い出に残るような緑地ひろばとなるように引き続き努めてまいります。

